

# 袖ヶ浦市下水道事業の業務状況

(令和5年度下半期)

10月1日から3月31日まで

都市建設部 下水対策課

# 1 事業の概況

## 業務の状況

公共下水道は、行政区域内人口66,041人に対して、処理区域内人口44,812人となり普及率は67.9%となりました。水洗化人口は43,707人となり前年度末比169人増、水洗化率は97.5%となりました。

処理区域内人口、水洗化人口ともに増加したものの、一日平均有収水量は0.2%減（△28 m<sup>3</sup>）、一人一日平均有収水量は0.7%減（△20）となりました。コロナ禍で増加した水需要が平常化し、生活用の水量が減少したと考えられます。有収水量は0.3%増（7,633 m<sup>3</sup>増）でほぼ横ばいとなりました。

農業集落排水は、行政区域内人口66,041人に対して、処理区域内人口3,986人となり普及率6.0%となりました。水洗化人口は3,216人となり前年度末比33人減、水洗化率80.7%となりました。

転出等により処理区域内人口、水洗化人口ともに減少しており、有収水量も前年度末比0.9%減（△1,300 m<sup>3</sup>）となりました。

（公共下水道）

区 分		令和5年度下半期		令和4年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	66,041	人	65,777	人	264	0.4
2	処理区域内人口 B	44,812	人	44,677	人	135	0.3
3	処理区域内世帯	20,460	戸	20,215	戸	245	1.2
4	水洗化人口 C	43,707	人	43,538	人	169	0.4
5	普及率 B/A	67.9	%	67.9	%	0	—
6	水洗化率 C/B	97.5	%	97.5	%	0	—
7	排水戸数	19,898	戸	19,609	戸	289	1.5
8	有収水量	2,353,501	m <sup>3</sup>	2,345,868	m <sup>3</sup>	7,633	0.3
9	一日平均有収水量	12,861	m <sup>3</sup>	12,889	m <sup>3</sup>	△ 28	△ 0.2
10	一人一日平均有収水量	294	リットル	296	リットル	△ 2	△ 0.7

※1行政区域内人口～7排水戸数は各年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は各年度下期数値

※8有収水量は、し尿処理施設からの汚水流入量を含む

（農業集落排水）

区 分		令和5年度下半期		令和4年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	66,041	人	65,777	人	264	0.4
2	処理区域内人口 B	3,986	人	4,055	人	△ 69	△ 1.7
3	処理区域内世帯	1,438	戸	1,430	戸	8	0.6
	東部地区	496	戸	492	戸	4	0.8
	松川地区	212	戸	202	戸	10	5.0
	平岡地区	730	戸	736	戸	△ 6	△ 0.8
4	水洗化人口 C	3,216	人	3,249	人	△ 33	△ 1.0
5	普及率 B/A	6.0	%	6.2	%	△ 0.2	—
6	水洗化率 C/B	80.7	%	80.1	%	0.6	—
7	排水戸数	1,177	戸	1,167	戸	10	0.9
8	有収水量	146,032	m <sup>3</sup>	147,332	m <sup>3</sup>	△ 1,300	△ 0.9
9	一日平均有収水量	802	m <sup>3</sup>	810	m <sup>3</sup>	△ 8	△ 1.0
10	一人一日平均有収水量	249	リットル	249	リットル	0	0.0

※1行政区域内人口～7排水戸数は各年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は各年度下期数値

## 2 経理の状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業収益	1,852,045,000	1,125,915,022	1,861,253,545	100.5
営業収益	726,418,000	375,551,362	734,213,529	101.1
営業外収益	1,107,165,000	731,900,454	1,108,576,810	100.1
特別利益	18,462,000	18,463,206	18,463,206	100.0

#### 支出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業費用	1,656,266,000	1,166,070,256	1,627,617,469	98.3
営業費用	1,535,746,000	1,097,697,089	1,518,708,106	98.9
営業外費用	104,651,000	59,751,513	100,243,391	95.8
特別損失	8,869,000	8,621,654	8,665,972	97.7
予備費	7,000,000	0	0	0.0

### (2) 資本的収入及び支出

#### 収入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的収入	290,019,000	225,383,340	272,531,790	94.0
企業債	239,600,000	221,100,000	221,100,000	92.3
他会計補助金	3,180,000	3,180,000	3,180,000	100.0
国庫補助金	42,175,000	△ 583,000	41,592,000	98.6
県補助金	3,336,000	△ 174,000	3,336,000	100.0
負担金	1,628,000	1,835,340	3,223,790	198.0
長期貸付金償還金	100,000	25,000	100,000	100.0

#### 支出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的支出	787,078,000	444,803,825	770,029,961	97.8
建設改良費	177,388,000	137,363,905	162,131,004	91.4
企業債償還金	606,826,000	306,176,020	606,635,057	100.0
長期貸付金	1,600,000	0	0	0.0
固定資産購入費	1,264,000	1,263,900	1,263,900	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額497,498,171円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,223,121円、当年度損益勘定留保資金292,601,867円、減債積立金162,740,569円及び当年度分利益剰余金の処分額33,932,614円で補てんしました。

### 3 令和6年度の予算の概要

#### (1) 予算の概要

令和6年度の予算は、「袖ヶ浦市下水道事業経営戦略」に掲げる下水道事業運営基盤の強化に向け、事業の経営成績と財政状態の現状把握を行ったうえで、より健全な事業運営を行っていくことを目的として計上しました。

#### (2) 収益的収入及び支出

##### 収入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)
下水道事業収益	1,744,000,000	1,777,000,000	△ 33,000,000
営業収益	721,575,000	749,915,000	△ 28,340,000
営業外収益	1,022,425,000	1,027,085,000	△ 4,660,000

##### 支出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)
下水道事業費用	1,621,000,000	1,667,000,000	△ 46,000,000
営業費用	1,531,219,000	1,554,310,000	△ 23,091,000
営業外費用	82,531,000	105,440,000	△ 22,909,000
特別損失	250,000	250,000	0
予備費	7,000,000	7,000,000	0

#### (3) 資本的収入及び支出

##### 収入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)
資本的収入	415,000,000	205,000,000	210,000,000
企業債	322,100,000	192,700,000	129,400,000
他会計補助金	2,304,000	3,180,000	△ 876,000
国庫補助金	88,376,000	760,000	87,616,000
県補助金	0	3,510,000	△ 3,510,000
負担金	2,220,000	4,750,000	△ 2,530,000
長期貸付金償還金	0	100,000	△ 100,000

##### 支出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

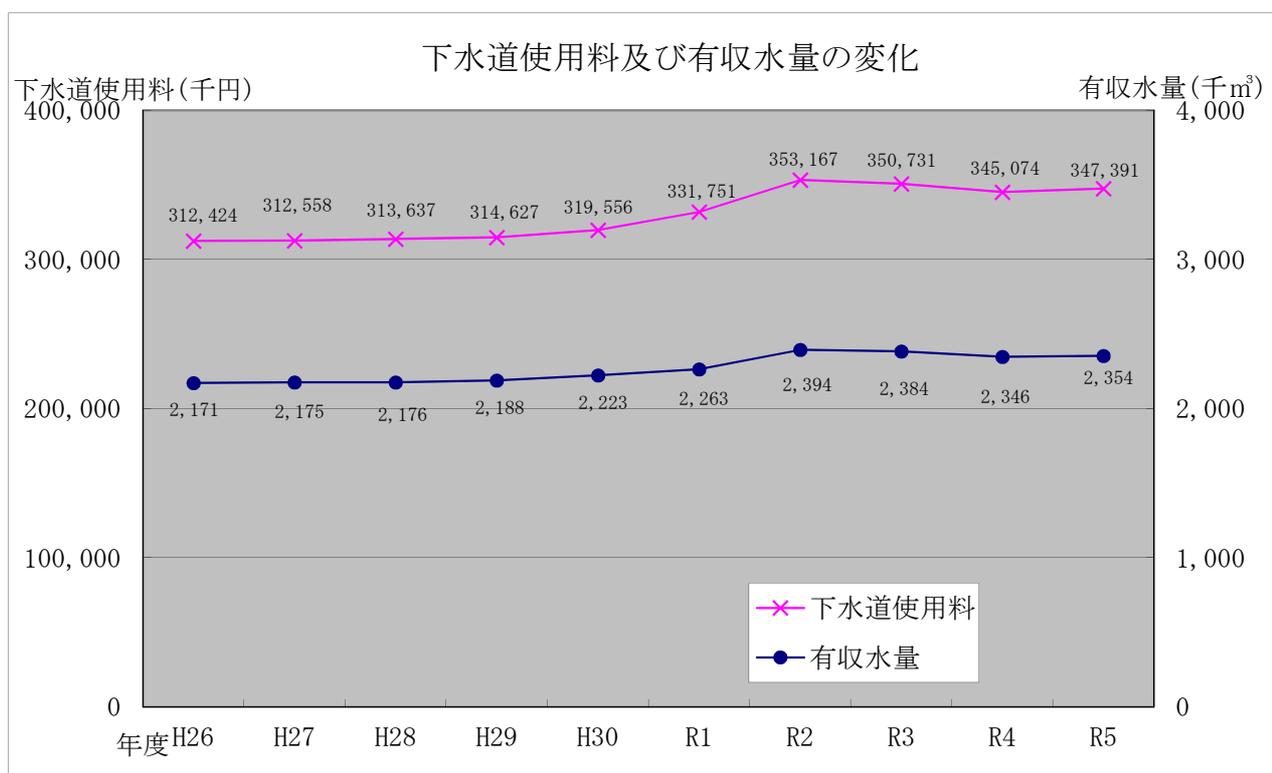
款・項	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)
資本的支出	845,000,000	702,000,000	143,000,000
建設改良費	270,488,000	90,258,000	180,230,000
固定資産購入費	2,122,000	0	2,122,000
企業債償還金	568,790,000	610,142,000	△ 41,352,000
長期貸付金	1,600,000	1,600,000	0
予備費	2,000,000	0	2,000,000

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額430,000,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額14,155,000円、当年度分損益勘定留保資金303,368,000円及び減債積立金112,477,000円で補てんします。

#### 4 下水道使用料及び有収水量の推移について（下半期）

##### （1）公共下水道

年度	有収水量 (m <sup>3</sup> )	下水道使用料 (円) (税込)	備考
H26	2,171,285	312,424,131	H26.4料金改定 (消費税5%⇒8%)
H27	2,174,765	312,558,409	
H28	2,175,601	313,636,903	
H29	2,187,909	314,626,905	
H30	2,223,014	319,556,088	
R1	2,263,157	331,751,256	R1.10料金改定 (消費税8%⇒10%)
R2	2,393,937	353,166,702	コロナ禍での水需要増加
R3	2,383,660	350,731,293	
R4	2,345,868	345,074,437	
R5	2,353,501	347,391,039	



有収水量及び下水道使用料は、前年度下半期と比較するとほぼ横ばいとなり、有収水量は7,633m<sup>3</sup>増、下水道使用料は2,316,602円増となりました。

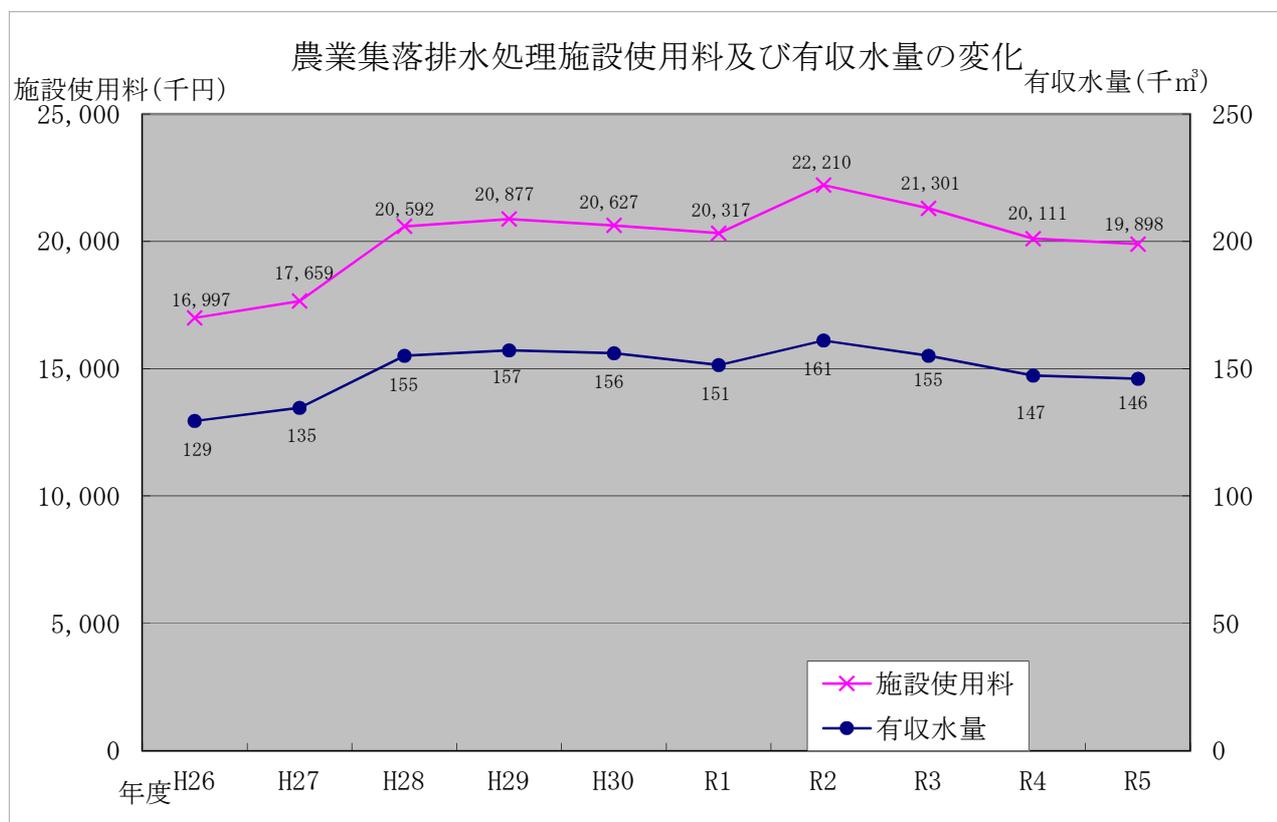
排水戸数、水洗化人口は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり在宅時間が減少したことから一般家庭の生活用の水量が減少しました。一方、業務営業用は経済活動が正常化しつつあり水量が増加しました。

※有収水量：下水処理場で処理した全汚水量のうち、下水道使用料徴収の対象となる水量

※し尿処理施設からの汚水流入量及び処理負担金額を含む

## (2) 農業集落排水

年度	有収水量 (m <sup>3</sup> )	農業集落排水処理施設使用料 (円) (税込)	備考
H26	129,484	16,997,005	H26.4料金改定 (消費税5%⇒8%)
H27	134,642	17,658,859	
H28	155,077	20,591,865	平岡地区で大口使用者が新規使用開始
H29	157,215	20,876,702	
H30	156,052	20,627,327	
R1	151,405	20,316,874	R1.10料金改定 (消費税8%⇒10%)
R2	161,064	22,209,675	
R3	155,105	21,300,755	コロナ禍での水需要増加
R4	147,332	20,111,374	
R5	146,032	19,898,107	



前年度と比較すると、処理区域内人口及び水洗化人口ともに減少し、有収水量も1,300m<sup>3</sup>減、施設使用料も213,267円の減となりました。

排水戸数は増えたものの、世帯員の転出等により水洗化人口が減少したことや、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し在宅時間が減少したことに伴い、一般家庭の生活用の水量が減少したため、有収水量及び下水道使用料は前年度下半期と比較し減少しました。

## 5 袖ヶ浦市下水道事業経営戦略との比較

令和2年2月に策定し、令和5年2月に改定した袖ヶ浦市下水道事業経営戦略(計画期間：令和2年度～令和11年度)と比較

### (1) 公共下水道

区分	経営戦略 (A)	5年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	44,633	44,812	179
水洗化人口 (人)	43,604	43,707	103
有収水量 (千m <sup>3</sup> )	4,636	4,678	42
下水道使用料 (千円)	679,461	690,191	10,730
1日平均有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,701	12,781	80

※処理区域内人口、水洗化人口は令和6年3月31日現在値

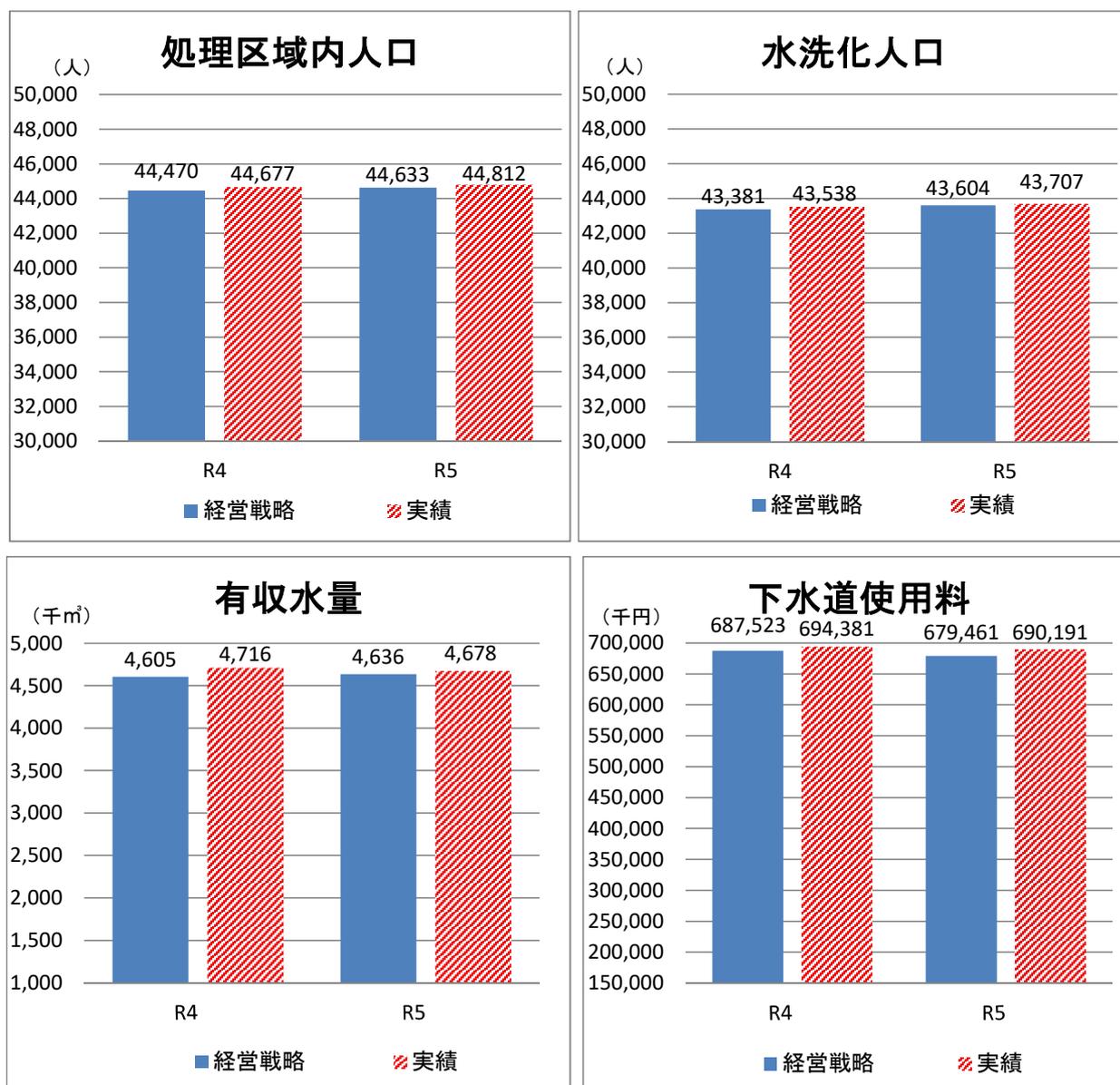
※下水道使用料は税込金額

※有収水量及び下水道使用料は、し尿処理施設からの汚水流入量及び処理負担金額を含む

処理区域内人口、水洗化人口は計画数値を上回っています。

これにより、有収水量及び下水道使用料についても計画数値を上回っていますが、前年度実績と比較すると水量、使用料とも減少している状況です。

### ○経営戦略と実績との比較



## (2) 農業集落排水

区分	経営戦略 (A)	5年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	4,073	3,986	△ 87
水洗化人口 (人)	3,325	3,216	△ 109
有収水量 (千 $m^3$ )	297.5	292.0	△ 5.5
農業集落排水処理施設使用料 (千円)	39,963	39,773	△ 190
1日平均有収水量 ( $m^3$ )	813	798	△ 15

※処理区域内人口、水洗化人口は令和5年3月31日現在値

※農業集落排水処理施設使用料は税込金額

転出等により処理区域内人口、水洗化人口とも計画数値を下回っており、有収水量及び農業集落排水処理施設使用料についても計画数値を下回っています。

### ○経営戦略と実績との比較

